



各位

2025年11月13日

会社名 スパイダープラス株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 謙自
(証券コード: 4192、グロース市場)
問い合わせ先 取締役執行役員CFO 藤原 悠
(電話番号: 03-6709-2834)

通期業績予想の修正及び営業外費用計上に関するお知らせ

当社は、2025年11月13日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年2月13日の2024年12月期決算発表時に開示した2025年12月期(2025年1月1日～2025年12月31日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 通期業績予想の修正

(1) 当期の連結業績予想数値の修正(2025年1月1日～2025年12月31日)

単位: 百万円

	連結売上高	連結営業利益
前回発表予想(A)	5,300	10
今回修正予想(B)	4,900	△58
増減額(B-A)	△400	△68
増減率(%)	△7.6%	—
(参考)前期連結実績 (2024年12月期)	4,072	△519

(2) 修正の理由

当社は、2025年7月に発表したとおり、主力サービスである施工管理SaaS「SPIDER+」を建設現場の統合型プラットフォーム「SPIDER+Workspace」へと進化させる戦略を推進しており、2025年11月には新サービスをリリースし、販売プランを刷新しました。中長期的なLTV最大化と持続的な成長のためには、特に大手企業を中心とした既存顧客に新プランに移行いただき、深く活用いただくことが最重要であると判断しております。

この方針に基づき、2025年度下期は、営業リソースを既存顧客への新サービスの活用案内に集中させました。これらの活動は順調に進捗しておりますが、一方で、未導入ユーザーの獲得や全社一括商談等に振り向けるリソースが当初計画に比べ減少した結果、ストック収入の積み上げペースが鈍化し、連結売上高は前回発表予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上高の進捗に応じた効率的な投資に努める一方、新プラットフォームの機能強化に向けた開発投資や、中長期の成長を見据えた採用活動等の戦略的投資は継続すべきと判断いたしました。

この結果、前期(2024年12月期)比では営業損失が大幅に縮小し、収益性が大きく改善するものの、前回発表予想に対しては営業損失(△58百万円)となる見込みです。これらを踏まえ、通期業績予想を修正いたしました。

2. 営業外費用の計上

中長期的な企業価値向上を目的とした経営戦略等に関する検討のため、専門家を起用してまいりました。当第3四半期において、当該検討に関連して発生したアドバイザー費用 23百万円を営業外費用として計上いたしました。

以 上